

遊歩道

コンピュータ活用 3



奈良先端科学技術大学院大学が開発した探し物支援システム（河野恭之・助教提供）

忘れた物素早く発見

「あれ？傘をどこに置
き忘れたかな」。さう思っ
て探っていた電車の中か、

会社に置いたままだったか
。

こんな困り事を素早く解
決してくれるウェアラブル
コンピュータリングのシス
テムを、奈良先端科学技術
大学院大学の木戸出正継教
授の研究が開発した。

原理は「うた」。日常生活
でよく手にする物の名前を
聞き取らば、コンピュータ
ターに接続しておく。頭に

取り付けたカメラが撮影
した物を撮影し続け、
記録されている物が写る
と、その映像を自動的に記
録する。

「どこかに置き忘れた傘を
探したい」と思えば、コンピ
ューターで傘を検索すると、
撮りためた記録の中から手
に傘を持っていた最後のシ
ーンを呼び出して、ヘッド
マウントディスプレイに映
し出し、記憶を呼び起こす
手助けをしてくれる。
「私もよく、なくし物を
するんですよ」。システム
をつかった同研究室の河野
恭之・助教は笑いながら
開発のいきさつを話す。こ
レシステムが一年間に探し
物をする時間は百五十時間
と書かれた。山口国でも、
このシステムがあれば時間
をもっと有効に使える。実
用化すれば、人は物をなく
さなくなるかもしれない。

遊歩道

コンピュータ活用 4



ファッションナブルに衣身した物探し支援システム

ファッション性重視

奈良先端科学技術大学院
大学が開発した「物探し支
援システム」は、忘れん坊
にとって強い味方だ。ただ、
カメラやバッテリーが付い

たヘルメットをかぶらなけ
ればならず、髪形は乱れ、
首の痛も悩むため、日常的
に装着するのは難しい。

「女の子の誰がこれを着
けるんじや」と木戸出正継
同大教授。開発した河野恭
之・助教は「これでもた
いぶまじになった方です」
と苦笑いだ。

日常生活で使える形態を
目指し、奈良女子大と共同
研究で、このシステムをフ
ァッションに融合させてい

と試みた。

「思っている物を撮るのに
目の上にカメラが付いてい
た方がいいと思っていたの
ですが、こんな絶対嫌
い」と言われて腰にカメラ
を取り付けることに」と河
野助教。

腰のポシェットにカメラ
を入れ、バッテリーをパン
ツの足の部分に、ディスプ
レイは左手の袖口にそれぞ
れ取り付けた。昨春秋、大
阪で開かれたウェアラブル
コンピュータリングの国際
会議ではファッションショ
ーにも登場、喝采（かっさい）
を受けた。

木戸出教授は「ウェアラ
ブルコンピュータリングが
若者に自然に受け入れられ
るにはファッション性も重
要。海外には、電子回路を
服に埋め込む方法を研究し
ている人もいます」と話して
いる。

＝おわり